

委員26人とサポーター(卒業生)5人で今年度の子ども・若者会議がスタート。
今回は2つのテーマを話し合いました。

議題1. 子どもの権利条例を広めるための方法

大人に広めるために

- ・SNSやテレビなどのメディアを使ってPRしたい。
- ・イベントの時にPRしたい。

子どもに広めるために

- ・自分たちが学校を訪問して伝えたい。
- ・外国籍の子どもたちのために、多言語で発信したい。



議題2. 子ども・若者会議のみんなで作ってみたいこと

- ・子どもが安全に過ごせる環境づくりが必要。
- ・子ども・若者会議のキャラクターを作ってみたい。
- ・子どもがもっと意見を言えるよう、まず生徒会のサポートなどがしたい。



次回は11月に開催予定 /

今回出た意見について、より深く調べたり、関係する人に話を聞いたりして、方法等を検討します。



全力で
サポート
します。

みんなでごみ減量 vol.5



10月は「食品ロス削減月間」 問 環境課 ☎ 88・2674

ごみへの疑問を解消し、皆さんに少しでも取り組んでもらいたい減量のトピックス。
食べられたはずの食品が捨てられてしまうことを「食品ロス」といいます。日本の食品ロスは年間523万トン。1人あたり1年で約42kgになります。これは一人ひとりが毎日お茶碗一杯分を捨てているのと近い量*です。食べるものを、無駄なく、大切に
使って、食品ロスを減らしていきましょう。

※農林水産省ホームページより

もったいないこと
してないかい？



すぐできる食品ロス削減の取り組み

買物編

- ・事前に冷蔵庫をチェック。メモや携帯で撮影してから買い物に行こう。
- ・奥から取らず、並んでいる賞味期限の順に買おう。
- ・買いすぎ注意。食べられる、使う量を購入しよう。
※食べながら備蓄をする「ローリングストック」も試してみよう。



保存編

- ・保存方法に従って最適な場所に保存
- ・冷凍・乾燥・塩蔵などでストック
- ・期限の長い食品を奥に、近い商品を手前に



調理編

- ・「いつか食べる」は食品ロスのもと。今ある食材から使おう。
- ・体調や健康にも気をつけて、食べ切れる量を作ろう。
- ・冷蔵庫や収納庫を定期的に整理しよう。
- ・食品ロス削減レシピを試してみよう。



食べ残しはやめましょう。
きれいに食べてごちそうさま
できるかな？

